第52回神奈川県中小企業技術者等海外派遣団
動画でふりかえる海外視察

昭和精工（株）　髙梨真帆

■概要

本海外視察の目的は、先進的な欧州の製造技術を現地で直接体感することであった。現地で得た経験や空気感を鮮明に記録・共有するため、各視察先で動画撮影を行った。本発表では、動画を通して視察で得た知見をダイジェストで紹介する。

多くの企業が導入しているERPシステム、WAAMと呼ばれる金属3Dプリント技術による金属加工の新たな展開、移動中に感じた欧州の環境意識など、さまざまな観点から本視察を振り返る。

■感想・これから取り組みたいこと等

本視察では、モノづくりの現場で先進的なデジタル技術がどのように活用されているかを目の当たりにした。特に弊社と同様に少量多品種の金属加工を行う企業での経験は、今後の業務において貴重な学びとなった。

私は手作業で精密加工を行っており、「職人」の世界における技術継承の難しさに直面している。自ら技術を習得することに加え、次世代へ効率的に伝えることが課題である。感覚的な仕事すべてをデジタル化することは難しいが、技術習得のハードルを下げ、熟練者の記憶を記録として残すため、デジタルやAIを積極的に活用していきたい。